

くどやま

こんにちは！ 議会 です

第116号

編集発行 ☎648-0198 和歌山県伊都郡九度山町議会広報編集委員会 ☎0736-54-2019



子どもの命を守ろう！！

6月22日に小学校・幼稚園・保育所の先生方を対象に、
AED 心肺蘇生法の講習会が実施されました。

主な 内容

審議結果……………P2～3
 一般質問と答弁……………P5～7
 常任委員会活動報告……………P9
 編集後記……………P10

議案と質疑……………P3～4
 討論……………P8
 町議会の活動日誌……………P10

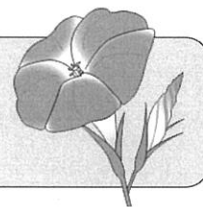
[陳情]

番 号	件 名	結 果	議 員 名									
			森 一 司	今 井 三 恵 子	松 本 孝 太 郎	山 下 晴 夫	阪 井 亮 太	伊 丹 俊 也	玉 置 秀 次	西 岡 加 津 子	井 上 崇 喬	前 橋
陳情第 1 号	陳情書（女性トイレの維持及びその安心安全の確保について）	不採択	○	●	●	●	●	○	●	●	●	—
陳情第 2 号	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

※議長は採決に参加しません。 ○賛成 ●反対

※ 賛否が分かれた議案の討論を 8 ページに載せています。

主な議案と質疑



専決処分

九度山町税条例等の一部を改正する条例

問 個人住民税の控除限度額の変更で町民の税負担はどうなるのか。
答 負担増となる町民はいません。

答 財源確定によるもので、コロナの影響ではありません。

放課後児童クラブ事業委託料減

問 減額の理由は。
答 事業実績の確定によるものです。

九度山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

問 課税限度額の変更で国税納税額が変わる世帯はあるのか。
答 負担が増える世帯と減る世帯があります。

準要保護修学援助費補助金減

問 補助金減の理由は。
答 援助世帯数が減ったことと、学校給食費の3か月無料化と修学旅行が県外から県内への変更に伴う援助費等の減によるものです。

令和3年度九度山町一般会計補正予算

町老人クラブ連合会補助金減 老人クラブ補助金減

問 補助金減は、コロナの影響による会員減によるものか。

まちづくり寄附金（ふるさと納税）減額補正

問 当初予算2億円から令和3年12月議会です億円に増額補正しました。最終確定で1億5千万円減額補正したことについて町の見解は。

議案

令和4年度九度山町

一般会計補正予算

答 いくら寄附が集まるかわからない旨を説明したうえで補正し、精一杯努力をしました。当初予算を上回る3億5千万円集めたことを評価していただきたいと思います。

旭ゲートボール場改修工事

160万円

九度山町まちづくり補助金

問 申請した団体はなかったのか。

答 相談1件のみです。

問 グラウンドに傾斜があると聞いていますが、傾斜を直す工事も行なわれるのか。

答 グラウンドを整備する工事を水道、電気などの工事と合わせて行ないます。

地域優良賃貸住宅建設

基本設計委託料

301万円



医療機関での接種は7月から開始し、集団接種は7月と9月に実施予定です。

中古沢コミュニティ

消防センター新築工事

設計監理業務委託料

1155万円

問 建設場所と供用開始時期は。

答 場所は中古沢集会所の道路を隔てて向かい側です。令和4年に入札、令和6年3月供用開始を予定しています。

日本一の果樹産地づくり

事業補助金増

問 70万円の増額補正ですが現時点での状況は。

答 当初予算では、100万円です。2件の予定をしておりましたが、今年度は6件の申請要望があり不足分を補正予算に計上しております。

令和3年度九度山町 介護保険特別会計補正予算

問 介護給付の多くで減額補正されている理由は。

答 コロナの影響、介護予防教室・サロンなどの予防事業により利用者が減っていることが考えられます。

コロナワクチン接種

(4回目)に係る健康管理

システム改修業務委託料

105万円

問 4回目のワクチン接種のスケジュールは。

答 6月頃に接種機関連の希望を確認する通知を発送し、7月頃から接種券を発送を予定しています。

問 建設場所、戸数、間取り、入居開始時期は。

答 場所≒大字九度山(落ノ谷池跡) ≒戸数≒木造2階建14戸 ≒間取り≒3LDK ≒入居開始≒未定 (令和6年度完成予定)

問 今後、増額する予定は。追加がありましたら次の補正の方で計上させていただきます。

答 追加はありません。



伊丹 俊也 議員

**コロナ禍と物価高騰から
暮らしと営業をまもるための
支援実施について**

質問 コロナ禍の長期化と物価高騰で町民生活、町内商工業者・農家の経営が厳しさを増しています。国の支援策は充分ではありません。本町独自に次の支援策を実施することについて尋ねます。

① 経営の困難に直面している町内商工業者・農家への支援

② 生活に困窮する町民（特に低所得者、年金生活者）への支援

町長 ①商工業者を見るとコロナの長期的な影響を受けてはいるものの、町独自実施の「事業継続奨励金」に加え、国・県の補助金の活用をサポートしていることもあり、コロナ禍で倒産など事業継続が困難になった事業者はないと

聞いています。農家については、昨年度、炭そ病の影響により地域によつては大幅に減収していますが、平核無柿は町全体で豊作となり、年間収入としては例年並みと聞いています。

しかし、コロナ禍において、様々な事業者が影響を受けていることも事実で、物価高騰の影響も懸念されます。本町としては、国・県の支援策も踏まえながら、町独自の支援策についても慎重に検討し、必要とあれば早急に対応してまいりたいと考えています。

② 町単独で対象者を限定し支援を行なった場合、電算システム開発に多額の費用を要し、非常に対応が難しいと考えております。本町としては、これまでに町民生活支援、事業者支援を行なつてまいりましたが、今後も引き続き、関係各課と協議の上、本町独自の支援策について速やかに検討の上、対応してまいりたいと考えています。

子ども・子育て支援について

質問 本町の子ども・子育て支援として次の3点を実施することについて尋ねます。

① 18歳までの医療費無料拡大

② 給食費の個人負担減額の検討

③ 子どもへの国保税均等割の軽減

※令和4年度から国費により未就学児の均等割は半額減免が実施されています。

町長 ①令和5年度実施に向け、関係条例の整備とともに、

関係機関との協議、医療機関への周知、並びに住民への周知を図つてまいりたいと考えています。

② 学校給食は、小・中学校の児童・生徒が対象となりますが、幼稚園及び保育所にお子さんを預けられているご家庭もありますので、教育委員会と福祉課が連携の上で、減額割合や対象年齢など制度の枠組みを整え、進めるよう担当課に指示を出しているとこ

ろです。

③ 子どもの国保税均等割については、国の責任で更なる軽減が行なわれるよう、町村会等を通じて強く要望してまいります。

再問 ②給食費の負担軽減について、実施時期と内容について尋ねます。

③ 自営業者は国保に加入します。子どもの国保均等割負担軽減は、本町に移住しての起業創業支援につながるのではないのでしょうか。

町長 ②3割の減免をできれば令和5年度当初から実施できれば良いかなと思つていません。

③ これから国保事務が県に移行、統一されていきます。（本町独自の減免は）少し、難しいかなと考えています。

※他に町営住宅建設について質問しました。

西岡 加津子 議員

児童・生徒の防犯対策

① 学校での防犯訓練について

質問 コロナ禍により、さまざまな行事が延期や中止となっていました。大切なことも達の安全を守るための取り組みとして、学校での防犯訓練等は定期的に行われていいますか。

教育長 学校での防犯対策は、重要な事項で各学校での教育計画でも、危機管理対応マニュアルを掲載しております。防犯訓練については、九度山小学校と河根小中学校では毎年実施、九度山中学校については、年により火災、地震、防犯の各教室を実施して、3年に一度は防犯教室を行うこととしており、本年度は11月に橋本警察署に協力を依頼し実施する予定です。また、本定例会の補正予算の提案の中に、保育所、幼稚

園及び各小中学校に、緊急時の非常通報装置の設置予算を計上しています。

これは、各学校に不審者等が侵入した場合に、電話回線を利用した非常通報ボタンを押すことにより、学校から警察本部の司令室に、非常事態を自動的に緊急通報する事ができるシステムとなり、このシステムを利用した防犯訓練を実施する事も可能と聞いています。

② 防犯ブザーの配布について

質問 不審者情報の統計では登下校時が一番多く、特に下校時は塾や習い事など個別な行動をとる等一層気を付けるべきです。児童・生徒を犯罪から守る為のひとつの手段として防犯ブザーを持つ事は有効だと考えます。

現在は防犯笛をもっているようですが、いざ使うとなるとなかなか上手く使えないと聞いています。そこで町から防犯ブザーの

配布を検討して頂けませんか。

教育長 児童・生徒を犯罪から守るために、防犯ブザーを携帯する事は有効な手段だと考えられます。本町では例年、日本マクドナルド株式会社、新小学一年生に対して配布する「安全笛」の寄贈事業に応募し、頂いた笛を新一年生に配布していますが、とっさの時に上手く使えないという事も考えられます。

防犯ブザーは機種により違いはありますが、ボタンを押すものや紐を引っ張り、ピンを抜く物など操作が簡単で、大音量で周囲に危険を知らせる事ができるため、有効であります。

防犯ブザーの全児童・生徒への配布については、実施の方向で検討していきたくと考えています。

再問 防犯ブザーを配布実施して頂いた後、学校では正しい使い方の指導、家庭では動作確認や点検また周囲の住民の方々には防犯ブザーの音を

知ってもらおう機会をつくり、ブザーが聞こえた時の対応のお願いするなど、町全体での子ども達の見守りにつながるような形を検討していただきたいのですがいかがですか。

教育長 配布の際、今までは子供たちや家庭には告知等はしていましたが、町民の方々にも周知する機会をもつのは大切と認識しました。

質問 防犯ブザーの配布に向けては、予算上の事もあり、今すぐは難しいですが、いつ頃の予定になりますか。

町長 9月の補正予算に上程し、できるだけ早い段階でお渡しをしたいと思っております。



山下 晴夫 議員

給食費について

質問 令和3年の出生率は1・3%と報道されています。これは国として由々しき問題であるといわざるを得ないと思います。本町も平成28年から令和3年までの6年間で生まれた子はわずか80名です。

給食費を無償化にするだけで出生率が高くなるとは思いませんが、全国でも無償化する自治体が増えてきていると報道されています。そこで和歌山県内で給食費の無償化等しているところを把握していれば教えて頂きたいと思います。

教育長 和歌山県教育委員会担当者に問い合わせしたところ、令和4年4月の時点で30市町村のうち、期間限定も含め10市町村が小・中学校とも無償化を行っています。一部無償化を行っている

ころは5市町村あります。

選挙の投票状況について

質問 本町の過去3回分の衆議院・県知事・町長・町議会選挙における投票率の推移をお尋ねします。

選挙管理委員長

衆議院議員選挙	H 2 6	H 2 9	R 3
	60.13%	63.85%	66.91%
県知事選挙	H 2 2	H 2 6	H 3 0
	61.96%	55.41%	52.70%
町長選挙	H 1 8	H 2 2	R 4
	84.88%	86.43%	76.47%
町議会議員選挙	H 2 3	H 2 7	H 3 1
	84.02%	78.80%	74.59%

上段：年度、下段：投票率

質問 65歳以上の本町民は、令和4年3月末で1839名で、本町全体の約半数に迫り、時間が過ぎてゆけば、ますます投票に行くのも困難な方が増えていくと思われる

一人でも多くの方に投票しやすい環境作りをしていただくのが必要だと思いますが、どういった対策を考えているのかお尋ねします。

選挙管理委員長

本町では、当日投票所10か所と期日前投票所を1か所設けています。一概に評価は出来ませんが、全体としては低下方向にあるものと認識しています。

近年、期日前投票比率が50%を超えることもあり、投票行動に変化が見られます。

公職選挙法の改正により、選挙当日、共通投票所の設置や期日前に投票

に不便と考えられる地域にはマイクロスバス等で移動期日前投票所の設置も可能とされています。

山間部をはじめ幾つかの投票区では、高齢者を中心に交通事情や心身の不調など、様々な理由により投票の困難な有権者が存在することは想像に難くなく、何らかの対策は必要と考えています。

人的・費用・二重投票の防止等々、克服しなければならぬ課題も多く、直ちに導入出来るというものはありませんが、移動期日前投票所の導入等については、研究を重ね、検討していきたいと考えています。



討論

■承認第4号
専決した事件の承認について（九度山町国民健康保険条例の一部を改正する条例について）

《反対》

本条例改定は国の制度改定にともない行なわれるものです。この制度改定で、中間所得層の負担軽減が行なわれますが、課税限度額の引き上げで負担増となる町民もいます。新型コロナウイルス禍の下で負担増となる制度改定そのものに反対する立場から、本条例改定に反対します。



■陳情第1号
陳情書（女性トイレの維持及びその安心安全の確保に関する陳情）

《賛成》

この陳情は、労働安全衛生規則の改正施行により女性トイレを減らすことが可能となったことを受けて「女子トイレはなくなり、減らさないで、女性たちに安心・安全を」という内容のもです。女子トイレの維持、安心・安全を図ってもらいたいという陳情趣旨に反対する理由はありませぬ。

女子トイレの維持、安心・安全を図ることは、全国共通の普遍的な課題です。この陳情を採択し、「女子トイレの維持、安心・安全を図ってもらいたい」との意見書を提出すべきだと考えます。

《反対》

町内の全ての企業、そして我が町九度山の公衆トイレは、この周辺や紀ノ川

筋においても相当進んだ取り組みがなされております。

これを九度山町議会として前向きに対応するということとは、今までやってきた努力に対して、また民間の事業主に対して、かけ離れた対応と判断した為、不採択が相応しいと思われまます。

以上の理由により、産業厚生常任委員会得不採択になりました。

■陳情第2号

沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

《反対》

陳情項目1「沖縄を『捨て石』にした差別的な安全保障政策をやめること」、そして、陳情項目2「辺野古新基地建設を断念すること」については、全くそのとおりであり、その趣旨に賛同します。しかし、陳情項目3「普

天間基地は『本土』に引き取り、日本全体で問題解決すること」については賛同できません。普天間基地をはじめとした沖縄の米軍基地は、戦後の米軍占領下の時期に民有地を強制接収して作られたもので無条件に返還すべきものだからです。沖縄に必要な基地は全国どこにも必要ありません。「本土に引き取る」理由はありません。辺野古新基地建設を中止し、国民的議論を提起することには賛成です。そのなかで普天間基地の無条件撤去の必要性についての理解が深まることを望むものです。

この陳情は、陳情項目3点をひとつの意見書として提出することを求めるものであるため賛成できません。

※討論とは、採決の前に賛否の理由を述べること

総務文教常任委員会活動報告

調査日:5月13日(金)

目的:AED維持管理の状況について(現地調査)

調査施設:上古沢コミュニティ消防センター

入郷コミュニティ消防センター

九度山小・中学校及び幼稚園

各施設、学校等に設置されているAED(自動体外式除細動器)の設置・管理状況についての現地調査を行いました。

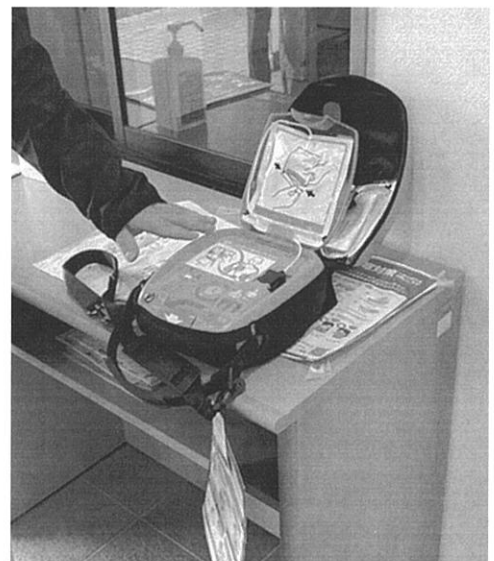
今回の主な目的は、「バッテリーをはじめ消耗品、備品の管理体制を確認すること」で、主に次のような質問も併せて行いました。

- ・AED設置基準について(特に定めなし)
- ・世界遺産マラソン実施時のAED準備について(町営プールに設置の物を持参)
- ・AEDを用いた心肺蘇生法の講習実施について(募集型で行っている)
- ・AED使用を想定した救命訓練の実施について(消防団で実施)

AEDは、町内28か所設置されてしますが、いずれの地域でも設置から現在まで使用事例はなく、消耗品、備品については交換時期にリース会社から送られてくるなど管理体制はきちりしており、バッテリー残量も常に目視で確認でき、いつでも使用可能な状態を維持できています。



▲現地調査の様子(入郷コミュニティ消防センター)



▲AED

議会広報編集委員会からのお知らせ

この度、一身上の都合により、伊丹俊也委員が議会広報編集委員長を退任されました。

令和4年4月7日から

新委員長に 阪井亮太 議員

新副委員長に 西岡加津子 議員

が任命されました。



ご意見・ご要望をお待ちしております

宛先 〒648-0198

九度山町大字九度山1190

議会事務局「議会広報編集委員会」あて

TEL 54-2019(代表)

FAX 54-4705(直通)

mail gikai@town.kudoyama.lg.jp



次回、定例会は9月に予定されています。

日程が決まり次第、ホームページに掲載します。

<https://www.town.kudoyama.wakayama.jp/>

町議会の活動日誌

- 5月 13日 総務文教常任委員会（現地調査）
- 17日 伊都郡町村議会議長副議長会総会
紀北ブロック総会
- 26日 第74回和歌山県町村議会議長会定期総会
- 27日 議会運営委員会
- 30日～31日
令和4年度全国町村議会
議長・副議長研修会
- 6月 1日 本会議
全員協議会
議会広報編集委員会
- 10日 本会議
全員協議会
議会広報編集委員会
- 13日 総務文教常任委員会
- 14日 産業厚生常任委員会
- 21日 議会運営委員会
本会議
全員協議会
議会広報編集委員会
- 30日 議会広報編集委員会
- 7月 5日 議会広報編集委員会
- 14日 和歌山県町村議会議長会新議員研修会

◇ 編集後記 ◇

災害の多かった平成も終わり、気持ちも新たに令和を迎えた年の暮れ、中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症が、アツという間に世界を席卷、パンデミックを引き起こし、世界の社会・経済・医療等に大打撃を与えました。

ワクチンを開発、接種を繰り返すやつの思いで先が見え始めた矢先、今年の2月、ロシアによるウクライナ侵攻で戦争が勃発、今度は人類が世界のエネルギー・食糧危機をもたらし、国際社会の根幹を揺るがす極めて深刻な事態を引き起こし、私たちの身の回りにもジワリ影響がはじめています。子々孫々のため、英知を集め一刻も早く戦争に終止符を打ち平和を取り戻していただきたいと願っています。

議会広報編集委員

山下 晴夫